

無所属

戸田のために、  
これからも。

# 真木 大輔

まき  
だい  
すけ

2年連続  
マニフェスト大賞  
受賞

市民の意見を  
よく聞く

私の声で  
しっかり  
伝える

市政の現状を  
よく見る



## ご挨拶

4年前に議席を賜ってからこれまでの間、幅広い世代の方々から多くのご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。みなさんのご意見にしっかり耳を傾け、一方で、市政の現状にも目を配りながら、戸田市の抱える課題について責任を持って行政へ伝えてきました。政治は暮らしにつながる身近なもので、みなさんが生活のなかで感じたことを代弁することこそが私たち議員の役目です。みなさんが希望を持てるまちづくりのために、やれることはまだたくさんあります。戸田市の未来のため、これからも活動していきたいと考えています。

## これからの政策

### こども

#### いっぱい遊び しっかり学べるまち



「近所の広場が閉鎖された」「ボール遊びできる場所がない」「図書館駐車場の一部を芝生広場にしてはどうか」など、子育て中の方々から、子供の遊び場や居場所に関する多くのご意見を頂き、それらの創出に向けて取り組んでいます。また、子供たちがこれからの社会で活躍するためには、新しい教育が必要です。全国に先駆けてアクティブ・ラーニングやプログラミング教育などに取り組んでいる、戸田市の教育改革を後押ししていきます。

##### 遊び場・居場所の創出

放課後や夏休みも体育館・校庭・公共施設を開放

##### 新しい教育の推進

人との関わりから自分なりの解決策を見出す

##### 子供の市政参画促進

子供たちの柔軟な発想を市政に活かす

### 子育て

#### 喜びを感じられるまち



昨年に子供が生まれ、核家族にとっての産前産後の大変さを身に染みて感じました。また、専門家のお話やお母さん方の実体験を聞かなかで、育児中の母親が抱える苦悩を知りました。育児を包括的にサポートする体制(戸田市版ネウボラ)づくりを進めます。あわせて、図書館や福祉センターなどの子供を連れて行きにくい公共施設や、住宅街にあるにも関わらず利用者の少ない公園をリニューアルし、多世代が交流できる場所となるよう、強く働きかけます。

##### 地域の子育て拠点設置

歩いて行ける場所で母子手帳発行から育児支援まで

##### 産後ケアの充実

ショートステイと訪問型ケア「ドゥーラ」の導入

##### 子育て世代が集いやすい場所づくり

図書館、福祉センター、公園のリニューアル

### 行財政

#### 資源をムダなく有効に使うまち



日本の抱える問題は、類を見ない急速なベースの少子高齢化に社会構造が適応できていないことです。幸い、戸田市での少子高齢化の進行は全国より20年前後遅れていますが、医療費などの社会保障費は急増を始め、上下水道などのインフラや公共施設は著しく老朽化しています。歳出削減やデータ分析に基づく医療費適正化を進め、戸田市の持つ人・モノの資源を有効活用することで、戸田市の豊かな財源を可能な限り将来への備えに回すべきと考えます。

##### 医療財政の適正化

生活保護医療、国保医療、こども医療

##### 利用者目線でのサービス改善

行政サービスを民間水準に「市民力」の活用も



☆エコ、教育、癒やしのため「除草ヤギ」の活用を提案しています！

### 交通まちづくり

#### すべての人が移動しやすいまち



自転車事故発生率が全国ワーストレベルの戸田市。《自転車は左》を啓発する提案でマニフェスト大賞を受賞し、自転車レーンの拡充にも努めてきました。今後、さらに戸田市での自転車活用を推進します。クルマ以外の交通手段で移動しやすいまちとなれば、生活の質向上、交通事故の減少、環境負担の軽減、まちの活性化が果たされます。コンパクトシティ化や公共施設再編と一体となった交通まちづくりを進めます。

##### 自転車活用の推進

ソフト・ハード両面での総合的な取り組み

##### 公共交通の充実

誰にでも分かりやすく使いやすく

##### 交通まちづくりビジョンの策定

徒歩・自転車・超小型モビリティ・公共交通

まき だいすけ  
**真木 大輔**  
プロフィール

1982年(昭和57年)  
3月7日生まれ/34歳

出身：茨城県日立市  
家族：妻、娘一人

新曾在住  
(ドイツ近辺、馬場町会)



### 学歴

茨城県立水戸第一高等学校卒業

東京大学卒業  
(教養学部基礎科学科物性分科)

東京大学大学院中退  
(駒場素粒子論研究室)

### 戸田市議会議員になるまで

予備校講師時代の同僚を通じて菅原文仁県議に出会い、師事。「教育」「子育て」「行財政」「安心・安全」の政策を掲げ、平成25年1月の戸田市議会議員選挙(定数26)において1139票を賜り当選。

### 戸田市議会議員として

#### 活動 01

選挙時に掲げた政策を中心に、本会議において一般質問や質疑・討論を行うほか、委員会や各種会議体においても積極的に発言を行う。

#### 活動 02

多くの提案が市政に反映され(※公式サイト参照)、全国の首長・地方議員・市民団体の取り組みを表彰する「マニフェスト大賞」を、個人・委員会で2年連続受賞。

#### 活動 03

教育分野に強い関心を持ち、毎月の教育委員会定例会を傍聴するほか、研究発表会や教職員向け研修会、国の教育シンポジウムへ主体的に参加。文部科学省発行資料への寄稿を行う。

#### 活動 04

自転車の社会的役割が法律のなかで初めて規定された「自転車活用推進法」(※今春施行)の成立に関与した政策団体に参加。戸田市での自転車政策に関する活動実績が、官公庁でも読まれる専門誌で特集される。

#### 活動 05

さいたま市で開催されたトークイベントにゲスト参加。「政治は難しいものではなく、市民の暮らしにつながる身近なもの」と伝えるべく、日々、Facebook・ブログにおいて市政の現状や課題をわかりやすく説明する。

#### 役職

- 戸田市議会議員(一期目)
- 政党無所属(党歴なし)
- 市民生活常任委員会副委員長
- 会派「戸田の会」副代表
- 埼玉銀杏会(東大同窓会)常任幹事
- NPO法人自転車活用推進研究会会員